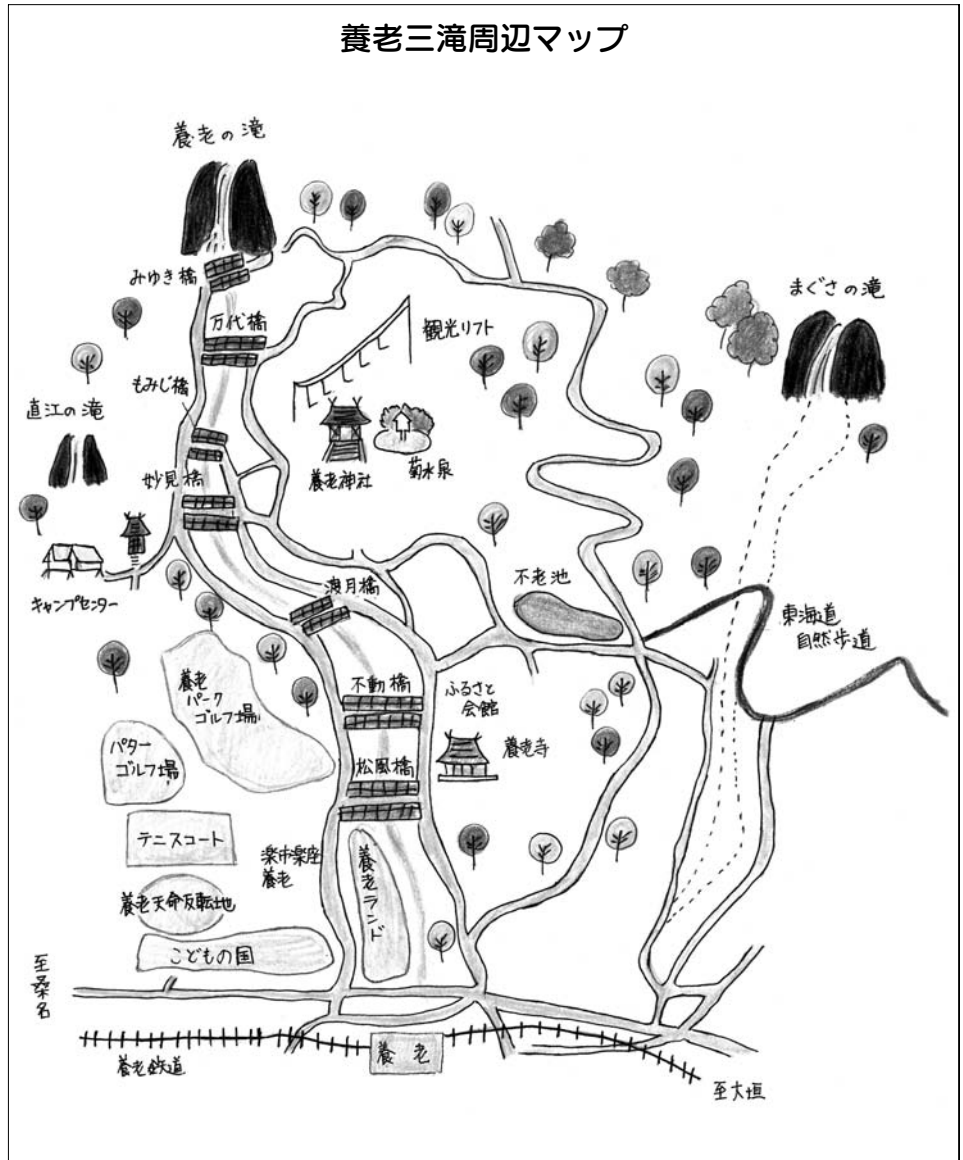




▲昨年12月に開催された「まぐさの滝ツアー」(主催：町観光協会、協力：養老三滝めぐり同好会)での様子
滝までは、急な斜面や石や倒木などで歩きにくい場所が多くあります。その分、苦労してたどり着いたときの喜びは格別です。



直江の滝

養老の滝より南へ約0.5キロメートルの場所にあります。

一段目は落差約9.5メートル、幅約3メートルで、二段目は落差約7メートル、幅約2メートルの二段構成の滝で、「多藝の滝」とも呼ばれています。

養老キャンプセンターから山奥に入った場所であり、秣の滝と同じく、滝にたどり着くには、整備されていない獣道を通らなければなりません。

残念ながら、現在は、治山整備のための工事中(平成28年3月終了予定)のため、近くまで行くことができません。

今回紹介した三滝はまだ道路が整備されていない箇所も多々あり、現在、町では三滝をめぐる遊歩道の整備を進めており、また地元有志による「養老三滝めぐり同好会」(会長、早崎隆太郎さん)はボランティアで清掃活動に取り組みなど、町民との協働により事業を推進しています。



▲養老三滝めぐり同好会の皆さん

ハイキング・登山での注意事項！

ハイキングや登山では自己責任が原則です。あらかじめルートや距離、天気などを十分に調べ、ハイキングや登山に適した服装で出かけましょう。靴は、傾斜面や石がごろごろあり転びやすい場所を歩く場合が多いため、トレッキングシューズを用意しましょう。

また、山道などには、人に危害を及ぼす生き物がいることがあります。蜂、ヒル、マムシ、漆などには注意しましょう。

